「令和7年度生成 AI サービス提供業務」に係る 公募型プロポーザル方式仕様書

1 業務名

令和7年度生成 AI サービス提供業務

2 想定スケジュール

本業務の想定スケジュールは以下のとおり。ただし、正式なスケジュールについては別途、発注者と受注者の間で協議の上決定することとする。

契約締結	令和7年6月上旬
RAG 環境移行完了	令和7年6月30日
サービス利用開始希望	令和7年7月1日

3 業務内容

業務の内容は次の項目のとおりとする。なお、本業務の遂行にあたり本書に記載の成果と同等以上の成果が得られる効果的な手法があれば、適宜、今回の提案内容に含めること。

(1) サービスの利用環境の提供及びそれに付随する準備作業

- ・本サービスが備えるべき機能の要件は、【別紙2】機能要件一覧にて示すとおり。
- ・受注者は、機能要件一覧のうち「必須」とされている要件をすべて満たすサービスを提供すること。
- ・受注者は、要件の対応可否について【別紙2】機能要件一覧に記入する形で回答すること。

(2) 現在、北九州市で使用している下記 RAG 環境の移行

- ・ AI 市長秘書官: イベント名や実施時期などから市長の挨拶文を生成
(格納ファイル: 200 ファイル程度)
*現在は RAG 環境のみではなく、市長らしいあいさつ文となるようにシステム調整を入れています。システム調整を行わない場合、同等程度の生成が行えるプロンプトテンプレートを市と協議の上、作成いただきます。
- ・ AI 会計室: 会計室の事務マニュアル、例規集などから質問に回答
(格納ファイル: 2000 ファイル超/約 5GB)
- ・ その他 : 13 環境
(格納ファイル: 概ね 10~100 ファイル、最大 300 ファイル超)

(3) 研修

サービスの利用にあたって、以下の研修および操作マニュアルを行うこと。

① 管理者向け研修

- ・サービスの運用管理者向けのシステム操作研修
- ・対象人数: 最大 10 名程度を想定
- ・研修はオンサイトで実施すること。
- ・事後閲覧できるように研修内容を録画し動画ファイルとして提供すること。

② ユーザー向け操作マニュアル

- ・ユーザー向けにサービスの操作方法を説明するマニュアルの提供

4 サービス利用規模

・サービスの利用者、組織数、利用量の想定は以下のとおり

対象	利用規模
システム利用者数	約 7,500 人
システム同時ログイン数	約 400 人
生成 AI 同時接続数	約 400 人
想定利用回数	20,000 回/月 (参考: 2025 年 3 月時点は約 7,000 回/月)
想定する生成 AI	・デフォルトモデル: 費用対効果が高いモデル (GPT-4o mini、Gemini 1.5 Flash 相当を想定) ・職員の一部に上位モデルを許可 (GPT-4o / Claude 3.5 Sonnet / Gemini 1.5 Pro 以上を 想定)

(参考)

- ・1日の平均使用回数: 約 300 回、最大利用人数 100 人(令和 7 年 3 月実績)
- ・月間使用トークン量: 659,853,120 トークン(令和 7 年 3 月実績)

5 業務体制

受注者は、業務の遂行にあたり複数人で構成された体制を整備し、市と円滑な意思疎通が図れるよう留意すること。また、報告、協議、助言、およびその他必要なコミュニケーションについては、定期的に対面または Web 会議形式にて行うこと。

6 参考資料の貸与・提供

発注者は、本業務の履行に際し必要と認めるものに限って、受注者に資料を貸与・提供する。

7 その他

- (1) 本提案の評価は、提案者の技術力などを評価するために行うものであって、提案書に基づき、そのまま業務を了承するものではないことに留意すること。
- (2) 成果品(業務の履行過程において得られた記録等を含む)を第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、市の承諾を得た場合はこの限りではない。
- (3) 本仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者が協議して決定する。